

現況の評価：多くの国で財政が強化されつつある

カルロ・コッタレリ

世界経済の回復が緩慢なことから、世界中で財政調整がより一層困難になっています。だからといって調整がほとんど進んでいないということではありません。実際、2008年から2009年にかけて悪化した財政勘定を強化する取り組みは、過去2年間で大幅に進んでいます。最新の[財政モニター](#)では、この進捗状況を検証しています。

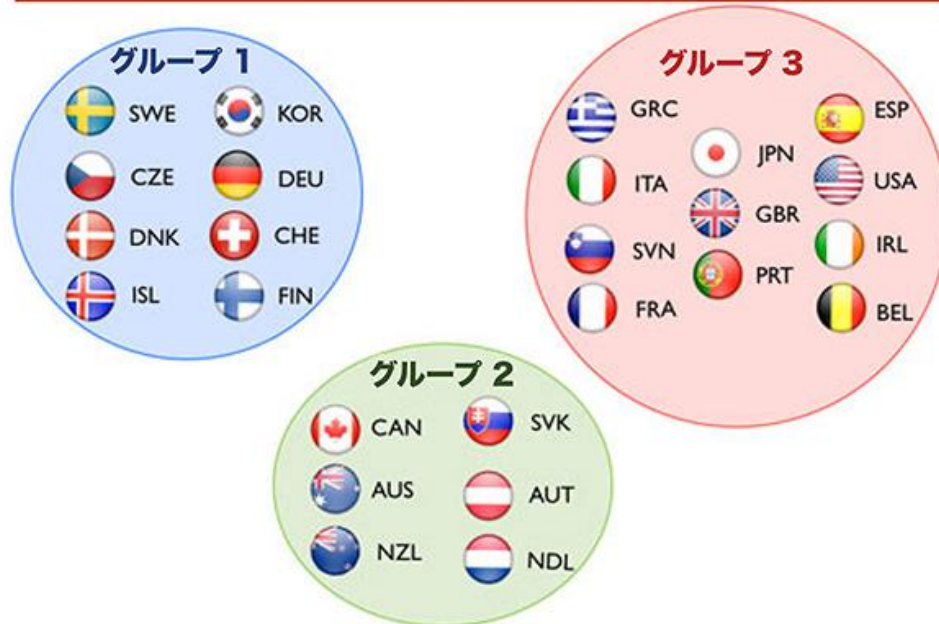
財政赤字は縮小、多くの場合は債務も減少

まず、喫緊の財政問題を抱える先進国・地域についてお話ししましょう。大半の先進国・地域では、財政赤字（歳出と歳入の不均衡）の削減において着実に前進しています。景気循環要因調整後の財政赤字は、2011年と2012年に対GDP比で約0.75パーセント・ポイント減少し、2013年には約1パーセント・ポイント減少する見込みです。ただし、私が[財政モニターのビデオ](#)でもう少し詳しく説明しているように、赤字は公的債務の上昇に歯止めをかけるほど減少していません。各国の借入れは以前より減少しましたが、それでも依然として巨額の借入れを行っており、対GDP比率を含め全体として債務は拡大しています。その理由の一つには、GDP成長率が低いことが挙げられます。それでもこの面で若干の進歩が見られるのは、債務比率が上昇しているとしてもこれまでよりそのペースが落ちているためです。

この iMF ダイレクトは <http://blog-imfdirect.imf.org/2012/10/09/taking-stock-public-finances-now-stronger-in-many-countries/> で閲覧可能

iMF ダイレクトブログホームページ：<http://blog-imfdirect.imf.org/>

3つの国グループ



ただし、これらは平均的な数値であり、多くの重要な点が曖昧になっています。それでは、先進国・地域の状況を詳細にみてみましょう。大まかに言うと、先進国・地域を三つのグループに分けることができます。

グループ 1 は、債務の対 GDP 比率が減少または安定している国々です。このグラフは、これらの国々の平均的な財政赤字と債務比率の上昇の時系列的な推移を表しています。縦軸は 2007 年を開始年とする赤字水準、横軸は 2007 年以降の債務の累積的变化を示します。

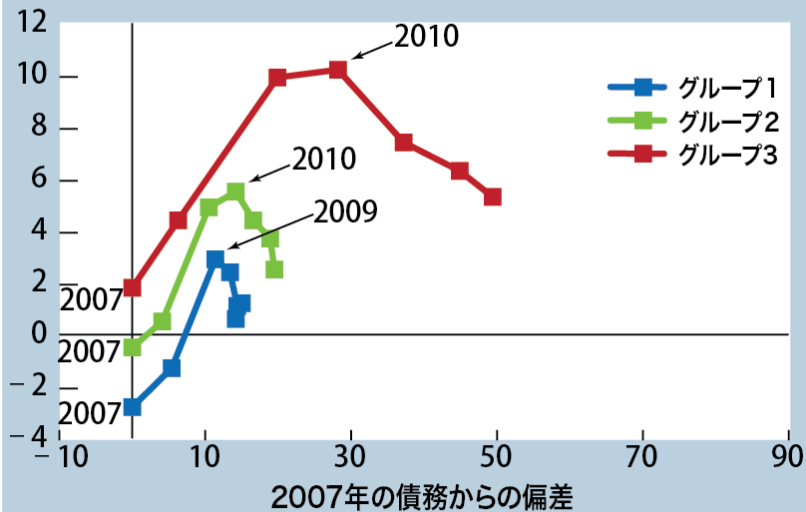
この IMF ダイレクトは <http://blog-imfdirect.imf.org/2012/10/09/taking-stock-public-finances-now-stronger-in-many-countries/> で閲覧可能

IMF ダイレクトブログホームページ : <http://blog-imfdirect.imf.org/>

先進25カ国の赤字と債務

先進国を3つのグループに分けると、平均的に赤字と債務の状況を理解しやすくなる。

(赤字、対GDP比)



出典: IMF

注: 縦軸は2007年を開始年とする赤字水準、横軸は2007年以降の債務比率の累積的变化を示す。

青の線が示すグループ1では、最初、債務と赤字が増加します。その後、赤字は減少し始めますが、債務比率は上昇を続けます。最終的に、最後の段階で債務比率が赤字に追いつき、下降し始めます。

グループ2は、債務比率はまだ減少していないが、これから減少し始める国です。このグループの赤字は減少し続けており、債務比率の上昇幅は縮小しているものの峠を超えたわけではありません。しかし、その水準は比較的低い状態にとどまっています(緑の線を参照)。

グループ3は、他と比較し財政の不均衡が大きい国です。大半の国では、赤字は減少し始めたものの、債務はまだ高い水準にあるまたは依然として上昇している、あるいは両方となっています(赤い線を参照)。

この状況から我々はどこを目指すのか?

多くの国、とりわけグループ3の国は、今後数年にわたって財政調整を進めなければなりません。我々がこれまで強調してきたように、必要な調整速度は財政不均衡の規模、市場圧力の程度、全体的な経済の健全性によって異なります。一般に、経済活動が依然として弱いことを考慮すると、財政調整は比較的穏やかなペースで行うのが好ましいと我々は引き続き考えています。米国では、穏やかな調整ペースを

このIMFダイレクトは <http://blog-imfdirect.imf.org/2012/10/09/taking-stock-public-finances-now-stronger-in-many-countries/>で閲覧可能

IMFダイレクトブログホームページ: <http://blog-imfdirect.imf.org/>

維持するには、自動的に財政赤字を削減する「財政の崖」を回避し、債務の上限を時宜を得たかたちで引き上げることが必要です。

「財政モニター」では、新興市場国・地域の財政赤字と債務の水準は、総じて、先進国・地域と比較し大幅に低いということが浮き彫りになっています。大半の新興市場国は、2012年と2013年に財政調整を一時的に停止することになるでしょう。これらの国は平均して、2010年と2011年にかなり大掛かりな財政調整を行いました。今年と来年はほとんどゼロになります。これは、世界経済の見通しの弱まりに対する妥当な対応ですが、一部の国では中期的に、大規模な赤字と債務の削減を行うために相当な労力を投じる必要があります。一部の新興市場国はかなり巨額のプライマリー赤字を抱えており、数年にわたる力強い成長にもかかわらず、支払利息以外の支出を賄うだけの十分な歳入がないことが極めて重要な問題です。したがって、世界成長に対する下方リスクが弱まった時に、これらの国は財政面での脆弱性の改善を再び進める必要があります。

このIMFダイレクトは <http://blog-imfdirect.imf.org/2012/10/09/taking-stock-public-finances-now-stronger-in-many-countries/> で閲覧可能

IMFダイレクトブログホームページ：<http://blog-imfdirect.imf.org/>